

✎ これからの時代に必要となる学びと子どものやる気

副会長 稲葉 茂

日本は、明治維新以来、欧米列国に追いつくために最新の知識を国民一人ひとりに正確に伝えるために江戸時代の寺子屋をより効率的にした学校教育を展開してきました。具体的には、一教室に六十人程度の子どもに教師が知識を伝達するというものでした。

その知識をしっかりと定着させたものが社会に出て成功する第一歩となる状況でした。そのため、学校生活から脱落することは社会から脱落することを意味することでした。このような状態が百二十年くらい続いたわけです。この間、社会が大きく変化していく中、学校教育だけが変わることなく説明伝達中心の授業が行われてきました。その結果、平成元年以降、いじめや不登校が大きな社会問題となりました。学校に行く意味を感じることが出来なくなった子どもたちが増えてきたわけです。

令和の時代を迎え、さらに社会は急激な変化をしてきています。AIをはじめとする人工知能が社会に浸透し始め、将来、消えていく職業さえ取りざたされてきました。

これからの時代、子どもが「やる気」を持って前向きに学ぶためには、何が必要でしょうか。子どもはみんな「やる気」を持っています。

しかし、自分が周囲から認められていないと感じた時、一気にやる気を失います。自分が原因となって周囲の雰囲気を変えられない「自己原因性喪失」という状況に陥るのです。

「自己原因性喪失」を防ぐためには、子どもの様子を丁寧に見て、その変化を認めてあげることが大切です。「宇宙の学校」で保護者が子どもの様子を観察し、タイムリーに声をかけている姿をよく目にします。

この様に保護者から認められた子どもは「やる気」を持ちます。そして、次に相手ができるように反応するかを気にするようになります。このような状況になることを「双原因性」が育った状態と言います。子どものやる気を育てるには自己原因性喪失を防ぎ、双原因性を育てることがポイントです。



「宇宙の学校」スクーリングでの保護者と子どものひとコマ

「宇宙の学校®」開催状況について

2020年度は対面でのスクーリングを中止としましたが、JAXA 宇宙教育センターと協議の上、2021年度は対面およびオンラインでの開催を可能とし、対面は感染予防対策を徹底することを条件としています。また、オンラインは双方向でコミュニケーションが取れることや、家庭学習レポート発表の機会があることを条件にしました。

現在、13か所の会場で開催しており、これから開校式を迎える会場は準備の真っ最中です。変異株の出現により、年度当初に想定したように開催することが困難になり、休止を決定した会場もありますが、今後も継続して開催できるよう主催者の皆さんをサポートしてまいります。



上東寺方会場リモート
下甲州市会場の対面開催の模様。間隔を広くして実施しています。

令和三年度通常総会を開催しました

総会の模様

定刻に始まり、会長からの挨拶の後、議長を選出、議事録署名人の選出を行い、議事の審議に入りました。議事ごとに質問やご意見をいただきながら、議事は進行し、無事に全議案が承認されました。

出席者からのご意見

【ご意見】
事業計画について、前年度の計画の達成状況が掴みづらいので、事業の達成状況を出してほしい。

事務局：次年度の事業報告から対応いたします。

【ご意見】
プログラミングが面白いと思う。軌道計算を小学生向けにカスタマイズして、新しい方向性として提案する。

事務局：機材の課題等もあるが、今後の事業展開を考えて検討したいと思えます。

【ご意見】
大学や博物館と共同で事業を実施し、補助金を獲得する方法があるかどうか？

事務局：広く一般に理念を伝える手段としてクラウドファンディングの活用を検討しております。

講演会

講演会は、二十四号で紹介した株式会社アストロコネクトの荒井大作さんに、同社で行っている事業についてお話をさせていただきました。

コロナ禍で対面イベントが出来なくなり、オンラインでプラネタリウムの配信や天文イベントを開催されています。オンラインで活動を始めて気が付いたことや、オンラインのメリットを活かした事業活動の興味深いお話でした。たくさん質問にもお答えいただきありがとうございました。



交流会

ご参加いただいた皆様に、自己紹介と、「辛いコロナ禍の中でも良かったことや気づいたこと」を話していただきました。「時間が出来たので、今までやったことが無い事に取り組んでみたこと」や、「いのちの不思議さに改めて気が付いたこと」、「人と直接会って話することが自分たちにとって大切だったという事に気が付いた」など、様々なお話をいただきました。

昨年から対面での開催がかなわず、会員の皆さんに直接お会いできないので寂しく思いつつも、画面越しにお会いできて嬉しく思いました。会員交流会など企画しておりますので、決まりましたらメールマガジン等でお知らせいたします。

